

令和2年度シラバス 年間学習計画

教科	理科	科目	化学	学科 学年 類型	普通科・フロンティア科・2 学年・理系	単位数	2
----	----	----	----	----------	---------------------	-----	---

学期	月	学習単元 項目	定期テスト	学習のポイント	備考 使用教材 教科書：化学 新訂版 (実教出版)
					評価規準
1 2	4 ～ 9	化学基礎を実施			
	10 11	第1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化	2学期中間	気体、液体、固体の性質を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解する。 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連させて理解する。	・物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解している。また、状態変化に伴うエネルギーの出入りおよび状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解している。
	12	2節 気体の性質 3節 固体の構造 4節 溶液	2学期末	気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。 結晶格子の概念および結晶の構造を理解する。 溶液のしくみ、溶解度を溶解平衡と関連づけて理解する。 身近な現象を通して溶媒と溶液の違いを理解する。	【進研模試】 ・気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。 ・結晶格子の概念および結晶の構造について理解している。 ・溶液の性質の法則性、コロイド溶液に関する事象について理解し、知識を身につけている。
3	1 2	第2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー 2節 化学反応と電気エネルギー 3節 反応の速さとしくみ	学年末	化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解する。 外部から加えられた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。その反応に関与した変化量と電気量との関係を理解する。 電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを理解する。 反応速度の表し方および反応速度に影響を与える要因を理解する。	【南模試】【進研模試】 ・化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応前後における化学エネルギーの差から生じる事を理解している。 ・外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こること、また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係を理解する。 ・反応速度の表し方、反応速度に影響を与える要因などについて理解している。
	3	第2章 物質の変化と平衡 4節 化学平衡		可逆反応、化学平衡および化学平衡の移動を理解する。 水のイオン積、pH、弱酸、弱塩基の電離平衡について理解する。	・可逆反応、化学平衡の移動、水のイオン積、pH、弱酸や弱塩基の電離平衡などについて理解している。